

平成29年1月11日

平成28年度 四国防災トップセミナーの開催

大規模災害に向けて今備えるべきこと

～”必ず来る”今だからこそ出来ること～

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

今年度は、防災、減災をテーマに地震予知研究の第一人者である、東京大学地震研究所の**地震予知研究センター長・教授 平田 直 氏**、また、東日本大震災による甚大な被害を受け、現在「復興まちづくり計画」を策定し、災害に強く安全なまちを目指し取り組みを進めている宮城県の**東松島市長 阿部 秀保 氏**に御講演頂きます。

- 開催日時 平成29年1月17日（火）14：30～17：15
- 場 所 国土交通省四国地方整備局 13F災害対策室
香川県高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎13階
- 参加者 四国内の95市町村長、四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバー 他
- 主な内容（予定）
 - ◆ 基調講演【1部】
『東日本大震災と熊本地震災害を教訓とした南海トラフ巨大地震への備え』
東京大学地震研究所センター長・教授 平田 直 氏
 - ◆ 基調講演【2部】
『「あの日を忘れず ともに未来へ」～東松島一心～
東日本大震災の対応と復興まちづくりについて』
宮城県 東松島市長 阿部 秀保 氏
- 主 催 国土交通省 四国地方整備局

・この施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」及び「四国地震防災基本戦略」の取り組みに該当します。

・四国防災トップセミナーは、国土強靱化基本計画等を踏まえ実施するものです。

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

強く、しなやかなニッポンへ

【参考】◆ 国土強靱化関連イベントに関するHPは、下記のとおり
http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/event.html

問 い 合 せ 先

国土交通省 四国地方整備局 企画部
総括防災調整官 泉川 暢宏 （内線 2119）
防災課長 宮武 敏男 （内線 3411）
TEL （087）851-8061（代表）
（087）811-8310（ダイヤルイン）

昭和南海地震から70年

今年度は、1946年12月21日の昭和南海地震発生後70年目にあたります。四国地方も昭和南海地震により甚大な地震・津波被害を受けました。

四国地方整備局では、地域の皆様に、津波防災対策やその重要性について一層の理解を深めて頂く観点から、平成28年度は年間を通じて、津波対策に関する講演会その他行事の開催の機会に、昭和南海地震について改めて紹介しています。

大規模災害に向けて 今備えるべきこと ～“必ず来る”今だからこそ出来ること～

震災直後の宮城県東松島市(大曲浜地区)

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

今年度は、防災、減災をテーマに地震予知研究の第一人者である、東京大学地震研究所の地震予知研究センター長・教授 平田 直 氏、また、東日本大震災による甚大な被害を受け、現在「復興まちづくり計画」を策定し、災害に強く安全なまちを目指し取り組みを進めている宮城県の東松島市長 阿部 秀保 氏に御講演いただきます。

本セミナーを通じて大規模災害に関する知見を広げ、今後の災害への備えに繋げていただきたいと思います。

開催日時

平成29年 **1月17日(火)** 14:30～17:15

場 所

国土交通省 四国地方整備局 災害対策室
(高松サンポート合同庁舎13階)

参加者

四国内の95市町村長、
四国南海トラフ地震対策戦略会議構成員他

主 催

国土交通省 四国地方整備局

プログラム

◆ 開会挨拶

国土交通省 四国地方整備局長 名波 義昭

◆ 基調講演(第1部)

**東日本大震災と熊本地震災害を教訓とした
南海トラフ巨大地震への備え**

東京大学 地震研究所 地震予知研究センター長・教授 平田 直 氏

◆ 基調講演(第2部)

**『あの日を忘れず ともに未来へ』～東松島一心～
東日本大震災の対応と復興まちづくりについて**

宮城県 東松島市長 阿部 秀保 氏

◆ 情報提供

- ・ 津波防災地域づくりについて
国土交通省 総合政策局 参事官(社会資本整備) 井上 誠
- ・ 四国地方整備局からの情報提供
国土交通省 四国地方整備局 企画部長 畠中 秀人

◆ 閉会

大規模災害に向けて 今備えるべきこと

～“必ず来る”今だからこそ
出来ること～

東日本大震災と熊本地震災害を教訓とした南海トラフ巨大地震への備え

東京大学 地震研究所



地震予知研究センター長・教授
平田 直 氏

生年	昭和 29年	東京都生まれ
学歴	昭和 55年	東京大学大学院理学系研究科 地球物理学専攻 修士課程 修了
職歴	昭和 57年	東京大学理学部 助手
	平成 10年	東京大学地震研究所 教授
	平成 21年	東京大学地震研究所 所長
	平成 23年	東京大学地震研究所 地震予知研究センター長
	平成 28年	地震調査委員会 委員長 地震防災対策強化地域判定会会長

最近の地震災害を教訓として、 南海トラフの巨大地震による 災害を軽減化する方策について

基調講演
(第1部)

平成7年兵庫県南部地震や、平成16年新潟県中越地震では余震観測を本震発生直後から実施して、本震断層の形状、余効的地殻活動を明らかにする等数々の研究、論文、書籍を執筆されている。また、国の地震対策の組織である地震調査委員会委員長及び地震防災対策強化地域判定会会長の要職を兼ねられ、防災教育普及協会会長として減災を目的として優れた防災教育プログラムの普及に務められています。



熊本地震調査委員会(文科省)
写真提供: 共同通信社



熊本地震調査状況(南阿蘇村)
出典: 東京大学地震研究所HP

『あの日を忘れず ともに未来へ』 ～東松島一心～

東松島市



市長
阿部 秀保 氏

生年	昭和 30年	宮城県東松島市生まれ
学歴	昭和 54年	中央大学法学部 卒業
職歴	昭和 62年	矢本町議会議員 (5期)
	平成 11年	矢本町議会議員 (2期)
	平成 17年	東松島市長 (1期目)
	平成 21年	東松島市長 (2期目)
	平成 25年	東松島市長 (3期目)

東日本大震災の対応と 復興まちづくりについて

基調講演
(第2部)

宮城県東松島市は、東日本大震災では平成15年宮城県北部地震の教訓を生かし、早期のがれき処理や防災集団移転地選定に努め、全国的に注目された。また、震災復興事業として「復興まちづくり計画」を策定し、心を一つにまい進していく「東松島一心」、「市民協働」の言葉を掲げながら、住民主体の復興のまちづくりを進めています。



東松島市スマート防災エコタウン全景



東松島市震災遺構「伝承館」
(旧野蒜駅)